

保育士 12 名中

平成 29 年度 花園保育園 自己評価

A…よい B…ふつう C…努力を要する

I 保育について		評価結果	A	(%)	B	(%)	C	(%)
1	保育所保育指針の内容を理解し、子どもの最善の利益を重んじている。		4	33.3	8	66.7	0	0.0
2	理念や組織を理解し、自信の立場や役割を見極め、臨んでいる。		7	58.3	5	41.7	0	0.0
3	自己の体調管理はもちろん、保育の準備はしっかりとできている。		8	66.7	4	33.3	0	0.0
4	5 領域を踏まえ、心情・意欲・態度を育む保育計画を立てている。		3	25.0	8	66.7	1	8.3
5	子どもにとって心地よく、発達を踏まえた環境設定を行っている。		5	41.7	7	58.3	0	0.0
6	常に危険予測をし、(精神的・肉体的)安全面には十分に配慮している。		8	66.7	4	33.3	0	0.0
7	園生活で、養護と教育が育まれるよう、保育に工夫を凝らしている。		4	33.3	7	58.3	1	8.3
8	安心・安全を踏まえ、心の安定と刺激体験を織り交ぜ成長を促している。		8	66.7	4	33.3	0	0.0
9	職員や保護者との連携を十分に図り、安定的な子育て環境を作っている。		9	75.0	3	25.0	0	0.0
10	計画→実践→確認→改善が大切で、会議や記録、研修を強化している。		4	33.3	8	66.7	0	0.0







V 自身について		評価結果	A	(%)	B	(%)	C	(%)
1	子どもに関わる職業に就いた動機を、自信を持って語ることができる。		10	83.3	2	16.7	0	0.0
2	子どもについての関心・興味は、無限大で成長が楽しみである。		12	100.0	0	0.0	0	0.0
3	子どもの成長を追求し、同時に自身もともに成長できている。		5	41.7	6	50.0	1	8.3
4	自身の「強み」「弱み」を知っている。		5	41.7	6	50.0	1	8.3
5	自身の性格を把握し、状況に応じてコントロールできている。		6	50.0	6	50.0	0	0.0
6	目標を持って人生を歩んでいる。		4	33.3	8	66.7	0	0.0
7	自身を高めてくれる仲間がいる。		8	66.7	4	33.3	0	0.0
8	資質向上を目指し、自己研鑽に努めている。		4	33.3	8	66.7	0	0.0
9	社会に視野を広げ、知識や技術を磨いている。		2	16.7	10	83.3	0	0.0
10	園の職員として、誇り(プライド)を持っている。		6	50.0	6	50.0	0	0.0